

1. 背景／目的

○背景

河川担当の技術職員は、事業調整、設計積算、工事監督、維持管理などの幅広い業務を実施している。また、技術職員の年齢層も、若手職員から実務経験の豊富な職員まで幅広い。

○目的

山形河川国道事務所河川担当職員同士が、治水事業の実施事例などを通して意見交換していくことで、**河川担当職員全体の技術力の向上を目指す。**

2. 取組概要

○実施概要

ファシリテーターのリードにより、管内の治水事業の実施事例（調査・設計・工事・事業調整など）を振り返るとともに、**検証しながら治水対策に向けたプロセスについて習得する。**

- 検証事例：少数家屋の治水対策
- ファシリテーター：河川副所長
- 参加者：河川担当職員（3班に班分けし議論）
- 実施内容：

第1回平成30年6月26日（火）（3班14人の参加）
・過去の被害状況や周辺状況を資料で確認
・現時点で考えられる治水対策手法を、班内で意見交換等

第2回平成30年8月29日（水）（3班9人の参加）

・先例地視察を含めて現地にて状況を確認

第3回11～12月頃（予定）

・各班での検証結果報告および全体での意見交換

※ファシリテーターとは・・・

ディスカッションの内容を整理しながら進める司会進行役です。参加メンバーの意見に相槌を打ちながら質問を投げかけ、議論を活性化することが主な役割となります。

3. 第2回の状況

◆少数家屋の治水対策の事例調査状況（梨郷地区）



◆先例地視察状況（阿武隈川上流管内）



二本松・安達地区 水防災事業



本宮地区左岸
河川都市基盤整備事業